

SUVの力強さとクーペのあでやかさを、 上質に磨き上げたスタイリッシュエクステリア。

SUVの力強さとクーペのあでやかさを融合しながら、乗る人が輝いて見えるスタイリッシュなエクステリアデザインを追求しました。ロアボディは、サイド面の豊かな抑揚とスタンスのよいタイヤ配置で安定感と安心感を強調。全周に配置したボディロアガーニッシュとドアパネルの立体造形で、力強さのなかに緻密さを表現しています。アッパーボディは、前後を絞り込んだスピンドルシェイプのエアロキャビンと、ノーズからルーフへつながる流麗なシルエットで、クーペのパーソナル感とあでやかさを表現しました。



Photo:HYBRID Z
ボディカラーはミスティグリーン・パール



力強さとエレガントさを両立させた高品位なフロントビュー

フロントフェースは、Hondaの新デザインアイデンティティー「ソリッド・ウイング・フェース」に則りながら、ヴェゼルならではの個性と存在感を追求。フロントグリルにダークなメタル調の表現を施し、透明感のあるヘッドライトと連続性を持たせました。フロント全体の造形は、大きく張り出したバンパーと厚みのあるロングノーズで力強さを強調しながらも、バンパー、ボンネット、フェンダーの洗練された面構成によって、エレガントさを兼ね備えた高品位なフロントビューを完成させています。

スポーティーな走りを感じさせるダイナミックなサイドビュー

フロントドアからサイドウィンドウ後端に向けて、ボディをえぐるように駆け上がるダイナミックなキャラクターラインを採用。ロアボディとアッパーボディそれぞれの塊感を強調しながらもひとつの造形として巧みに融合し、これまでにないクロスオーバーフォルムを完成させました。また、サイドウィンドウの視覚的な重心をフロント席に置くことで、ドライバーズカーであることを強調。リアアウトワードハンドルをウィンドウグラフィックスに溶け込ませ、2ドアクーペのパーソナル感とスポーティーイメージを高めています。

力強さのなかに軽快さを表現したリアビュー

左右に張り出させたコーナーと肉厚の造形でロアにボリュームを持たせ安定感を強調。タフネスを感じさせながらも、大きく前傾させたリアウィンドウと彫りの深いテールゲートで軽快感を表現しました。また、テールゲートスポイラーを全タイプに標準装備。サイドを折り下げたディフューザー形状とすることで、彫刻的な美しさを醸し出すとともに空力性能に貢献しています。